

映像の記憶の映像

情報文化教育における アートとサイエンス

このレクチャーは、異分野に属する人たちのコラボレーションを通じて、総合大学、なかでも文理融合型学部ならではの教育の愉しみを実感していただく機会として企画されました。半年以上の準備期間を経て昨年12月に発表されたアーティスト・パフォーマー・学生の協働制作による映像インスタレーション・パフォーマンス作品「cycling(サイクリング)」のテーマ「記憶」と、本プロジェクトのテーマ「教育」を2つの柱に、電子社会設計論・認知科学・社会心理学・情報デザイン・映像学の教員による講義、「cycling」記録映像の上映、学生による作品展示が行われます。

2006.2.28 [火] 13:00—17:00

会場=名古屋大学IB電子情報館012教室

地下鉄名城線「名古屋大学」下車 3番出口西側の建物です。

案内図掲載・<http://www.nagoya-u.ac.jp/info/profile2005/p23-map-a.html>

入場無料 | 申込不要

同時開催／情報文化学部学生による映像作品展示
(林祥恵・平岩法子・樂得良美・古木治郎)



13:00

開会

○

13:05

挨拶

安田孝美(名古屋大学大学院情報科学研究科教授)

13:20—14:50

第1部

○

13:20

レクチャー・1

「認知研究における記憶一思い出と忘却の科学」

川口 潤(名古屋大学大学院環境学研究科教授)

○

14:05

レクチャー・2

「社会心理学教育と映像資料」

唐沢かおり(名古屋大学大学院環境学研究科助教授)

15:00—15:40

第2部

○

「intermedia performance "cycling"」

上演の経緯とドキュメント映像

茂登山清文(名古屋大学大学院情報科学研究科助教授)

伏木 啓(名古屋学芸大学メディア造形学部助手)

15:45—16:30

第3部

○

15:45

レクチャー・3

「映画におけるヴォイス・オーバーと記憶の創造」

藤木秀朗(名古屋大学大学院文学研究科助教授)

●

16:30

まとめ

進行／秋庭史典(名古屋大学大学院情報科学研究科助教授)

閉会挨拶

佐野 充(名古屋大学情報文化学部長・大学院環境学研究科教授)